

FD 学外セミナー参加報告書

氏名：梅津郁朗

所属/職名：理工学部教授

参加セミナー名： 物理・化学・生物学グループ分野連携アクティブ・ラーニング研究対話集会

セミナー参加日時/場所： 2015/12/27(日) 14時～17時 アルカディア市ヶ谷

■ セミナー内容・所感・授業や本学への活用について

- 1) アクティブラーニング形式による初年次教育の効果と課題、2) 知識の定着、活用を目指したアクティブラーニングの提案、3) 上級学年生による教えあい・学び合い学修の同級と効果・課題三点の講演と1時間ほどの意見交換があった。1)では学生の主体性を育む各種の取り組みが紹介された。地域や卒業生との積極的な交流による手法が述べられ、大変参考になったが文学部の事例であり、理系での活用には疑問が残った。2)の講演ではアクティブラーニングを活用し、専門分野以外の学生に幅広い知識を身につけさせるための講義科目が紹介された。現在、本学には類型の科目はなく、興味深く拝聴した。予習による自らの状況の把握、教えることから発見させることへの授業の転換、グループを利用したアイデア交換等大変興味深い講演であった。能動的学習にするために予習、授業、復習が一体化されており、かなり練られた構成であった。ただし、この学習方法に合わない学生が居るとの問題点が講演者自身から指摘された。3)の講演では学部上級学生（学生スタッフ）による1年生への学修支援が紹介された。積極的に利用する学生が限られているものかなり効果を上げている様である。学生スタッフ自身も教える経験を通して様々な観点から成長しているようである。ただし受講者の積極的な参加と学生スタッフの確保が難しいとのことであった。本学でもLAの導入が検討されており参考となる事例であろう。意見交換会においてはアクティブラーニングの評価の難しさが指摘された。

必要事項を記入後、データで教育学習支援センターにご提出ください。
教育学習支援センター：lucks@adm.konan-u.ac.jp（内線：2180）